

重要取組シート

危機管理室 危機管理課

取組項目		避難情報発信力の強化
現状・課題		○防災行政無線屋外スピーカーは災害時における避難情報の伝達等を行うための重要な手段の一つである。 ○頻発化、激甚化する自然災害に対応すべく想定最大規模の浸水想定区域等で防災行政無線屋外スピーカーを新設し、的確に避難情報を発信する必要がある。 ○防災情報を素早く確実に市民に届けるため多様な手法を用いて効率的・効果的な市民周知を図る必要がある。
取組の内容		○想定最大規模の浸水想定区域等の災害リスクが高い区域で防災行政無線屋外スピーカーが設置されていない地域に対し、スピーカーとモーターサイレンの可聴域を踏まえた適正なスピーカー配置整備を進める。また、既設スピーカーについては災害時に確実に情報発信できるよう定期的に機器点検・動作点検を実施する。 ○幅広い市民に対し迅速かつ確実な防災情報の伝達が実施できるよう、防災行政無線屋外スピーカーに加えて緊急速報メールやＬアラートを通じたテレビ・ラジオ、Yahoo! 防災速報アプリ、ホームページ、SNS（Twitter・LINE）など多様な手法を活用した定期的な訓練を実施する。
スケジュール	前期 (～7月)	☐ (5月) 危機管理室員情報発信訓練の実施（定期実施） ☐ (5月) 防災情報システム O-DIS 入力操作研修 ☐ (5月) 防災行政無線（同報系）システムの改修 ☐ (6月) 防災行政無線屋外スピーカー機器点検・動作点検（定期に実施） ☐ (7月) 防災行政無線屋外スピーカー実施設計の契約
	中期 (～11月)	☐ ☐
	後期 (～3月)	☐ (2月) 行政防災無線屋外スピーカー整備工事の契約 ☐
	次年度以降	☐ 土砂災害警戒区域の新規指定及び新たな浸水想定公表等に伴い、防災行政無線屋外スピーカーの整備について順次対応
進捗の状況	前期 (～7月)	☐ (5月) 危機管理室員情報発信訓練実施 ☐ (5月) 防災情報システム O-DIS 入力操作研修実施 ☐ (7月) テレドーム廃止に伴い「防災情報テレホンサービス」への移行 ☐ (7月) 危機管理室員情報発信訓練実施 ☐ (7月) 防災行政無線（同報系）システム改修完了 ☐ 防災行政無線屋外スピーカー機器点検・動作点検実施（定期に実施）
	中期 (～11月)	☐ (8月) 防災行政無線屋外スピーカー実施設計契約 ☐ (9月) 防災情報システム O-DIS 入力操作研修実施（全職員対象） ☐ (9月) J:COM 防災情報サービス・堺市公式 LINE 防災メニューを導入 ☐ (11月) 防災行政無線屋外スピーカー実施設計完了 ☐ 防災行政無線屋外スピーカー機器点検・動作点検実施（定期に実施）
	後期 (～3月)	

(様式4)

2025	堺市基本計画	該当する 施策	5－（１）自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
		寄与する KPI			目標値（2025 年度）
未来都市計画	堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 1 1	住み続けられるまちづくりを	
		寄与する KPI			目標値（2023 年度）